

経営体の概要

- 所在地: 鹿児島県鹿児島市
- 経営体名: 有限会社A
- 経営概要 酪農(経産牛120頭), 繁殖牛(15頭)
- 従業員数: 3名(平成30年9月現在)

導入経緯

- 2人で1日8時間かかる搾乳労働時間を削減したかった。将来の労働力確保に不安があった。
- 鹿児島大学やメーカー, 県畜試等をコンソーシアムのメンバーとする革新的技術・緊急展開事業に応募し, 平成26年度に搾乳ロボットを導入。

導入技術

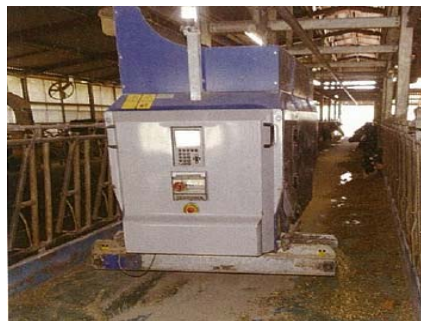
- 搾乳ロボット(デラバル(株)製) 2台
 - ・ 1台で60頭の搾乳が可能
 - ・ 個体毎に搾乳量, 生乳成分を把握し, 給餌, 成分分析を実施
- 自動飼料調整機・給餌機, 餌寄せロボット, 自動糞尿搬出機, 暑熱対策ファン等も併せて導入

取組の特徴・効果

- 個体毎の搾乳量等の分析や, 乳牛を自由に行動させるストレス低減対策の結果, 搾乳回数が増えて乳量が増加。生乳販売額では1000万円/年増。
- 搾乳労働時間 16時間→2時間
削減できた労働時間を人工授精業務や飼養管理業務に投入。人工授精業務により和牛子牛の販売額が800万円増加。
- ロボット導入により経費は500万円/年 増 (減価償却費を除く)
- 今後の経営展開
 - ・ 常時, 搾乳牛頭数を120頭に拡大
 - ・ 繁殖牛部門を40頭に拡大
 - ・ 搾乳ロボットを導入した他農家との連携
- スマート機器の導入で体と心のゆとりを実感しており, 実証成果を広く波及して, 普及が進むことを期待している。



搾乳ロボット



自動給餌機